

実技
講座

自分を見つめる

「無言館と、かつてありし信濃デッサン館」展は、戦没画学生たちが描いた自画像の作品と向き合うところから始まります。それらは、最期まで絵を描こうとした画学生たちが自分自身を見つめた痕跡です。今回の講座では、単に写実的に自画像を描くのではなく、**自分自身を見つめ、自分らしい自画像を描く**ことを目指します。アルキド樹脂絵の具（アクリルと油絵の具の両方の特性を持つ絵の具）を使い、F4サイズのキャンバスにあなたの姿を描いてみましょう。古典絵画技法の一つであるグリザイユ技法（モノクロ等で先に陰影を描いてから後で着彩する技法）やマチエール剤の使い方など、様々な絵画技法も一緒にご紹介します。誰かという自分、子供の頃の自分、未来の自分、そして今の自分…あなたならどんな自画像を描きますか？

11月30日(土)・12月1日(日)

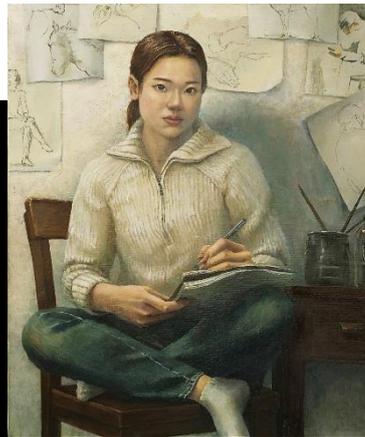
*2日間続けてご参加ください。

時間 10:00~16:30
場所 静岡県立美術館実技室
対象 中学生以上の個人
定員 12名
材料費 800円程度
観覧料 一般:1,200円 70歳以上:600円
大学生以下:無料
※ワークショップ中に展覧会を鑑賞しますので、別途、観覧料が必要になります。

持ち物
・昼食
・ご自身の顔写真
※講座内でも顔写真の撮影を行いますが、ご自身のお気に入りの顔写真（思い出の写真や子供の頃の写真など）があればお持ちください。

エプロンや作業着等、汚れても良い服装でお越しください。

※体調がすぐれない場合、ご参加を控えていただきますよう、お願いいたします。



参考作品:井出くらら



参考作品:風岡隼生

参考作品画像提供:アステール総合美術研究所



講師 野呂 美樹/のろ みき 氏

静岡県沼津市生まれ
東北芸術工科大学芸術学部美術科日本画コース卒業
静岡県立美術館実技室スタッフ
アステール総合美術研究所講師
アトリエかもめ(沼津市)講師 等

◆◆◆お申込み・お問合せ先◆◆◆

下記のいずれかの方法でお申込みください。定員を超えた場合は抽選となります。

◆FAX ◆郵送 ◆実技室ポストに投函 ◆WEBから申込む

県美 HP アドレス: <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2 TEL: 054-263-5857 FAX: 054-263-5742

※共催 静岡県立美術館友の会

申込受付期間: 10/23(水)~11/9(土) 必着
抽選結果: 11/14(木)以降、メールまたはお電話にて抽選結果を順次お知らせいたします。

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった場合は、以後、先着順にて受付いたします。



WEB申込みはこちら

お申込み用紙

実技講座

自分を見つめる

11/30(土)・12/1(日)

※2日間講座です。

フリガナ _____ TEL _____

お名前 _____ 中・高・大 年生・一般・70歳以上 _____

メールアドレス _____ @ _____ 連絡のつきやすい時間帯 _____ 時頃 _____

※定員を超えた場合は抽選となります。 ※ご記入いただいた内容は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。